

東京都

東ト協各支部を対象に 燃料費「支援金」説明会

東京都は、東京都トラック協会(浅井隆会長)をはじめ自動車関係団体が要望していた燃料費増大への支援制度として、令和4年度9月補正予算により、東京都運輸事業者向け燃料費高騰緊急対策事業「支援金」を交付する(既報11月10日号)。これに伴い、所管の都市整備局は11月15日、東ト協各支部を対象に説明会を開催し、交付要件や申請手続きなどについて説明した。



で予定台数に達した時点で終了するものではない。また、都と同様の支援を都内他自治体が行っている場合、支援の内容によってはどちらの支援も受けられる場合がある。その場合、東京都または対象の都内他自治体に確認する必要がある。

原則として電子申請で

ド車も対象だが、電気や水素自動車などは対象外。また、貨物運送を目的とした特種用途自動車は対象だが、小型特殊自動車(フォークリフトなど)、被けん引車(トラクタなど)、貨物を運ぶことを目的とした特種用途自動車などは対象外。

「事業者要件」 ①3年10月1日までに東京運輸支局において、一般または特定貨物自動車運送事業、貨物軽自動車運送事業のいずれかを許可または届け出済み ②中小企業基本法に定める中小貨物運送事業者(資本金3億円以下または従業員300人以下) ③4年12月1日時点で事業継続し、申請日時点で事業継続の意向がある事業者

「車両要件」 ①化石燃料(ガソリン・軽油など)を使用して自ら走行する自動車(二輪の自動車を除く) ②3年10月1日までに東京運輸支局などで車両登録・検査などが行われ、車検証の有効期限満了日が4年12月1日以降の運送事業の用に供する自動車 ③事業者が所有またはリース契約により借用し、使用している自動車

政府 4年度第2次補正 予算案を閣議決定

政府は11月8日、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」の推進に向けて、令和4年度第2次補正予算案(一般会計予算額28兆9222億円)を閣議決定した(以下、カッコ内は予算額)。

同支援金は、国の「新定貨物自動車運送事業型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を財源とし、燃料価格高騰の影響を受けている中小貨物運送事業者や乗合バス事業者を対象に交付するもの。都では今年度補正予算により、このための事業予算として総額約30億円を計上。交付額は、一般また特

都内登録台数分を予算計上 各要件に該当すれば対象に

現在、5年3月末まで最大割引率を40%から50%に拡充する措置が講じられているが、これを6年3月末までさらに1年間延長する。また、インフラ・交通・物流などの分野において、サービス向上や業務の効率化に向けて、道路に関するデータプラットフォーム構築などDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する(81億2300万円)。あわせて、脱炭素化などを推進するため、物流効率化を図る取り組みや物流施設における再生可能エネルギー関連施設の一體的な整備支援など、GX(グリーントランスフォーメーション)を推進する(76億9400万円、財政投融资200億円)。さらに、生産性向上に資する道路ネットワーク整備などを推進する(213億100万円)。迅速かつ円滑な物流・人流の確保を通じた地方の活性化を図るため、空港・港湾など広域交通拠点とのアクセス道路などの整備を進める。

省係 高速料金50%割引延長 国関 電動車の集中導入支援

総合経済対策の具体的な施策は「物価高騰・賃上げへの取組」をはじめ、4つを柱としたもので、各施策に必要な経費を補正予算で計上した。国土交通省関係では、事業用自動車における電動車の集中的な導入支援

加えて、トラック運送業界が最重点事項の1つとして要望していた、高速道路料金の大口・多頻度割引の拡充措置を延長する(77億5900万円)。ETC2.0利用の自動車運送事業者に対して

荷主団体に協力依頼



取引適正化に向けて 運賃交渉への対応を

具体的には、トラック事業者から運賃交渉の申請、荷主企業(運送委託者)との取引環境の適正化など、様々な課題解決に向けた取り組みが求められていると説明。特に取引環境の適正化には、荷主企業と事業者が協議の上、必要なコストに見合った適正な運賃による運送契約の締結が不可欠と指摘。このため、国土交通省は事業者の適正な運賃取受を支援する目的で、「標準的な運賃」(事業者が法令を遵守して持続的に事業を行う際の参考となる運賃)を大臣告示しているとし、その趣旨などを踏まえ、取引適正化について理解と協力を求めた。

事業法に基づく時限措置 自動車税制特例の延長を



井隆副会長(税制委員長)は、全ト協から浅井隆副会長(税制委員長)が出席し、要望した。また、物流基盤の整備に関して、高速道路ネットワークや休憩・休息施設、働き方改革の推進に資する中継輸送拠点の整備・拡充などを要望した。

協 自民党運輸・交通関係 団体委員会へ要望

全日本トラック協会は11月2日、自由民主党運輸・交通関係団体委員会の「予算・税制等に関する政策懇談会」で、令和5年度予算・税制改正などに関する、トラック運送業界の最重要事項について説明し、業界要望の実現に向けて理解と協力を要請した。同日は、全ト協から浅井隆副会長(税制委員長)が出席し、要望した。また、物流基盤の整備に関して、高速道路ネットワークや休憩・休息施設、働き方改革の推進に資する中継輸送拠点の整備・拡充などを要望した。

紙面あらい 経産・厚労省関係の第2次補正予算案 2 全ト協、業界景況感調査7~9月期 3 東ト協、SAS検査後対応の徹底を 4 東ト協、「標準的な運賃」活用セミナー 5 東運支局、令和4年Gマーク事業所表彰 7

中小の物価高対策支援へ 補助率高い特別枠を創設

4年度2次補正予算案

経済産業省は、中小企業の物価高対策を支援するため、4年度2次補正予算案において、特別枠を創設し、補助率を従来の1割から2割に引き上げる。対象は、生産性革命推進事業、燃料油価格変動緩和対策事業、中小企業等事業再構築促進事業(予算額5800億円)や、中小企業生産性革命推進事業(同2000億円)など。



建設現場の様子。物価高騰の影響を受けている事業者を支援する。特別枠として、物価高騰対策・回復再生応援枠を創設し、業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者、原油価格・物価高騰などの影響を受ける事業者を対象とする。

支援を行う。補助上限額は、従来規模に比べて1000万円(3000万円)で、補助率は中小企業3分の2(一部4分の3)、中堅企業2分の1(同3分の2)。なお、下限額は100万円。生産性革命推進事業は、生産性向上に向けた設備投資などに取り組み中小企業・小規模事業者を支援するもの。ものづくり補助金や持続化補助金、IT導入補助金、事業承継・引継ぎ補助金に比べ、成長投資の加速化と事業環境の変化への対応を支援する。

中小企業庁は、ホームページ(HP)で、令和4年度補正予算案(中小企業・小規模事業者持続化補助金)の補正予算案を掲載。中H資金繰り支援など、ポイント掲載している。具体的には、資金繰り支援や価格転嫁対策のさ

長距離利用は減少、深夜利用が大幅増。国土交通省は、首都高速道路の料金改定後(半年)の交通状況を取りまとめた。首都高速道路は、前年比10%増加しており、全国的にも増加傾向にある。ただし、増減は前年比(以下、増減は前年比)。

距離別交通量について、48キロ未満の短距離利用が増加傾向にある一方で、これ以上の利用は減少傾向。今年4月の料金改定では、上限料金の見直し(利用35・7キロ以上1320円から、55キロ以上1950円に引き上げ)が行われたことが影響しているようだ。

トラックダブル連結対象路線2倍に拡充

国土交通省は、道路局が11月8日、通常の大型トラック2台分を1台で輸送可能な「ダブル連結トラック」について、主要な通行経路となる区間を現在2050キロから5140キロへと約2倍に拡充した。

越自動車道・北陸自動車道・日本海東北自動車道・上信越自動車道・関越自動車道・常磐自動車道・東京外環自動車道・東関東自動車道・京葉道路・北関東自動車道・中央自動車道・長野自動車道・館山自動車道などの区間。対象路線の拡充にあわせて今後、高速道路のS・A・PA(サービス・パークイングエリア)で順次、ダブル連結トラック優先駐車マスを整備していく計画。具体的には、今回の拡充路線において、ダブル連結トラックの走行

距離が増加している。さらに、首都高速の湾岸線または横浜・川崎エリアを発着し、三郷JCT(Tジャンクション)を通過して常磐道(NEXCO)を利用するETC車に対し、千葉外環を迂回利用する場合の料金割引き(引が導入されたこと)に伴い、対象時間帯の交通量が20%も増え、大

業務改善・働き方改革 各助成金を大幅に拡充

厚労省 4年度2次補正予算案

厚生労働省関係の令和4年度第2次補正予算案による、最低賃金引き上げへの対応を支援する。支援する金額、業務改善助成金の上限額を引き上げるなど拡充する(予算額100億円)。あわせて、働き方改革推進支援助成金を拡充し、賃上げ加算額を増額する(同28億円)。

引き上げる中小企業・小規模事業者に対し、その業務改善に要した経費の一部を助成するもの。今回の補正予算では、特に最賃引き上げが困難と考えられる事業規模30人未満の事業者に対し、引き上げる労働者数・額に応じて助成上限額を拡充。例えば、引き上げ労働者数1人の場合、引き上げ額に応じて60万円、最大170万円とする。

このほか、中途採用等支援助成金(中途採用拡大大コース)について、要件を追加見直しを行う。ソコンなどの端末および周辺機器)に加え、関連経費も対象とする。さらに、事業規模について100人以下とする要件を廃止する。

一方、働き方改革推進支援助成金では、労働時間削減に取り組み中小企業・小規模事業者に対し、生産性向上に向けた設備投資などの取り組み費用の一部を助成し、さらに、賃金引き上げを行った場合に助成上限額を加算している。この「賃上げ加算」を増額し、引き上げる労働者数・率に応じて上限額を2倍に拡充。3%引き上げの場合30万円、最大300万円、5%引き上げの場合48万円、最大480万円をそれぞれ加算する。

また、特例事業者(コロナの影響で売上高などが15%以上減少、または原材料費の高騰などで利益率が3%以上低下の事業場)について、助成対象経費を拡充。従来の対象経費(定員7人以上または200万円以下の自動車、貨物自動車、パ

中小企業に金融支援策 省エネ設備導入を促進

東京都は11月18日、令和4年度12月補正予算案の考え方や対策の柱、予算規模などを公表した。

その柱は、①都民生活・事業者への支援など、②脱炭素化の強化、③新型コロナウイルス感染症対策など。

このうち、中小企業者に対する支援などに85億円(債務負担行

らなる強化、事業再構築補助金、生産性革命推進事業、小規模事業者持続化補助金のほか、円安環境への対応や相談体制の強化などの各施策について、その概要や主な拡充内容などについて紹介している。

HVトラック補助

東京都環境局は11月21日、令和4年度「低公害・低燃費車の普及促進事業」の実施要綱などを改正し、優良ハイブリッド(HV)トラックなどの導入補助について、申請期限などを延長した。

最近の自動車生産の遅延などを考慮し、延長するもの。申請期限はこれまで5年2月28日までとされていたが、同年3月31日まで延長する。また、実績報告の期限はこれまで5年3月31日から6月30日まで延長する。申請期限を延長することで、申請期限を延長する。また、実績報告の期限はこれまで5年3月31日から6月30日まで延長する。

申請期限を延長 5年3月31日まで

車輪脱落防止に向け 独自に街頭啓発活動

関東運輸局は、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」期間中(10月1日から2月)期間中、大型車ユーザーに対する街頭啓発活動を実施している。

大型車の車輪脱落事故が冬期に集中して発生していることから、その防止の緩みの点検を実施しているもの。あわせて、大型車ユーザーの運転者に対し、チラシや連結式ナット回転指示インジケーターを配布し、保守管理の重要性などについて直接、周知・啓発を行っている。

自動配送ロボット 活用へセミナー

経済産業省と新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は12月7日、自動配送ロボットを活用した新たな配送サービスに関するセミナーを開催する。時間は午後1時30分〜4時30分。会場(パシフィコ横浜/先着100人)参加は無料。参加費は無料。詳細はNEDOホームページを参照。

12月7日開催



全日本トラック協会は、6月期(比15・5%)に比べ、改善した。ただ、輸送量や運賃・料金は必ずしも回復していない(以下、指標の動向は前回比)。

実働率は▲15・9で15・3%、実車率は▲15・2で11・6%、それぞれ持ち直し、輸送効率は改善傾向に転じた。こうした中で経常損益は▲42・4で15・9%改善した。

業種別にみると、一般貨物では輸送量が▲7・3で5・4%水準を下げ、

全日本トラック協会は、6月期(比15・5%)に比べ、改善した。ただ、輸送量や運賃・料金は必ずしも回復していない(以下、指標の動向は前回比)。

実働率は▲15・9で15・3%、実車率は▲15・2で11・6%、それぞれ持ち直し、輸送効率は改善傾向に転じた。こうした中で経常損益は▲42・4で15・9%改善した。

業種別にみると、一般貨物では輸送量が▲7・3で5・4%水準を下げ、

全日協 景況感調査 7～9月期

全日本トラック協会は、6月期(比15・5%)に比べ、改善した。ただ、輸送量や運賃・料金は必ずしも回復していない(以下、指標の動向は前回比)。

実働率は▲15・9で15・3%、実車率は▲15・2で11・6%、それぞれ持ち直し、輸送効率は改善傾向に転じた。こうした中で経常損益は▲42・4で15・9%改善した。

業種別にみると、一般貨物では輸送量が▲7・3で5・4%水準を下げ、

収益が改善に転じるも数量や運賃は回復せず

全日本トラック協会は、6月期(比15・5%)に比べ、改善した。ただ、輸送量や運賃・料金は必ずしも回復していない(以下、指標の動向は前回比)。

実働率は▲15・9で15・3%、実車率は▲15・2で11・6%、それぞれ持ち直し、輸送効率は改善傾向に転じた。こうした中で経常損益は▲42・4で15・9%改善した。

業種別にみると、一般貨物では輸送量が▲7・3で5・4%水準を下げ、

次期は横ばいに

全日本トラック協会は、6月期(比15・5%)に比べ、改善した。ただ、輸送量や運賃・料金は必ずしも回復していない(以下、指標の動向は前回比)。

実働率は▲15・9で15・3%、実車率は▲15・2で11・6%、それぞれ持ち直し、輸送効率は改善傾向に転じた。こうした中で経常損益は▲42・4で15・9%改善した。

業種別にみると、一般貨物では輸送量が▲7・3で5・4%水準を下げ、

トラック輸送の省エネ化推進へ

国土交通省は、12月2日まで4次公募受付を実施している。次公募を推進している。これに伴い、執行団体は、申請書類をダウンロードして記入の上、事務局HP内「申請システム」にアップロードする。

詳細は、陸上輸送省エネ推進事務局(03-50-3154-050)のHPを参照。

動態管理システムなど導入費用補助

国土交通省は、12月2日まで4次公募受付を実施している。次公募を推進している。これに伴い、執行団体は、申請書類をダウンロードして記入の上、事務局HP内「申請システム」にアップロードする。

詳細は、陸上輸送省エネ推進事務局(03-50-3154-050)のHPを参照。

12月14・15日開催

国土交通省は、12月2日まで4次公募受付を実施している。次公募を推進している。これに伴い、執行団体は、申請書類をダウンロードして記入の上、事務局HP内「申請システム」にアップロードする。

詳細は、陸上輸送省エネ推進事務局(03-50-3154-050)のHPを参照。

運輸 点描

北海道新幹線が、2030年度に札幌まで延伸されるのに合わせ、函館本線(並行在来線)の函館～長万部間がJR北海道から経営分離されることが決まっております。廃止された場合、貨物鉄道の本州～北海道間ネットワークが分断されることになる。これは、北海道だけの問題でなく、日本全体の物流に影響を与えるほどのインパクトがあるが、一部の関係者を除き、まだ危機意識は伝わっていない。

貨物鉄道(青函ルート) 存廃問題

農水産品を中心に、北海道から日本全国へ年間202万トンの貨物が青函ルートを通じて、鉄道コンテナで輸送されている。その逆方向、日本全国から北海道へは日用品、産業物資、宅配便などを中心に、本州向けより多い年間216万トンを運ばれている。

函館～札幌間のうち、函館～長万部間は共通ルートだが、長万部～札幌間は在来線と貨物列車の2ルートに分かれる。在来線は長万部から倶知安、小樽を経由して札幌に至り山線と呼ばれ、長万部から東室蘭、登別、苫小牧、千歳を経由して

札幌貨物ターミナルに至るルートは海線と呼ばれている。このうち、山線が新幹線の札幌延伸に伴い、事実上の廃止が決定している。

共通ルートの函館～長万部間は、第3セクター方式による存続を検討中だが、新幹線が開通すると大きな赤字を生むとの試算があり、廃止される懸念が生じている。

過日、全国通運連盟がこの問題を取り上げたフォーラムを開催。参加したF・L・I・N・Eの担当者は「船舶だけでは運ぶことはできない」と危惧を示した。

同社の北海道～本州間

船枠確保はそう簡単ではない 中小荷主のロット集約が必要

海上トレラ換算で1日当たり2～3台確保すれば良いのだが、しかし、船枠を確保するのはそう簡単ではないと指摘する。

現在、北海道～本州間のフェリー航路は大洗～苫小牧など6ルートがあり、どのルートも毎日運航しているものの、トラックやトレラの積載台数は1航路当たりおよそ150台分に過ぎず、容量には限界がある。

特に鉄道のロットは5トだが、フェリーは10トにまとめなければならぬ。多くの中小メーカーにとつてロットを増やす課題が、大きな壁となっている。

加えて、鉄道は船舶に比べて集配距離が短いことと保管機能を持つこととが、

北海道の農水産物は東京市場の約4割を占めており、貨物列車の存続は国が動かなければ解決できない。新たな経営形態は、札幌延伸実現5年前までに決めることになった。

北海道の農水産物は東京市場の約4割を占めており、貨物列車の存続は国が動かなければ解決できない。新たな経営形態は、札幌延伸実現5年前までに決めることになった。

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当・青木)

高島平 03-6906-5960 (担当・磯田)

ホームページ <http://www.setagaya-yss.co.jp>

E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

職場のハラスメント 防止に向けセミナー

東京労働局は12月14・15日の両日、対面形式により「職場のハラスメント防止セミナー」を開催する。

時間は各日とも午後2時30分～4時30分、会場は千代田区九段第三合同庁舎(11階・共用会議室212)。

参加費は無料。

中小事業主や人事労務担当者対象として、実務に役立つ内容で開催する。具体的には、東労局職員がハラスメント防止措置について解説するとともに、東京働き方改革推進支援センターの専門家からハラスメント相談対応の具体的な方法・留意点などについて解説する(各日とも同じ内容)。

事前予約制(先着順)で、東労局ホームページ掲載の申込用紙に記入の上、FAX送信または郵送する。

▽申し込み・問い合わせ先

東労局事務局(均等部指導課) 03-3511-1557

健康起因事故防止で通知 SAS検査後の対応徹底

東ト協労働厚生委員会では、11月9日、全会員事業者に対し、大高一義委員長名で「健康起因事故防止に関するSAS(睡眠時無呼吸症候群)検査後の対応の徹底について」を発送し、検査結果に基づき適切な治療や対応を行うよう呼びかけた。

また、健康起因事故を未然防止するためには、受診するだけでなく、受診結果に基づいて適切な治療などを行うことが重要であることから、今回検査後の対応徹底について文書で通知した。SASスクリーニング検査の受診者には、検査機関による検査結果を6段階で判定し、特にSASの疑いがある受診者に対し、必要な対応などについて通知している。

そこで、検査結果に基づき、要精密検査対象者などに対しては、管理者

交通安全トートバッグ 区内の小学生へ寄贈



武井区長(左)にトートバッグを手渡す小泉青年部長(右)とおよび坂田支部長(右端)、浦田教育長(左端)

東ト協港支部(坂田生子支部長)青年部(小泉和久部長)は11月16日、港区に対し、交通安全啓発グッズのトートバッグ約2000枚を寄贈した。これに伴い同日、港区役

所で贈呈式が行われ、小泉青年部長が武井雅昭区長にトートバッグを手渡した。これに対し、武井区長から感謝状を受領した。同支部は、青年部が中心となり、特別賛助会員

事業の、「地域における交通安全対策事業」として、港区教育委員会の協力により、区内の小学1年生全員に交通安全啓発グッズなどを寄贈している。今回で3度目となる。

トートバッグには、放射材でトラックのイラストがプリントされており、自動車や自転車からの視認性が高いもので、昨年に続いての寄贈とした。

なお、贈呈式には、港区から浦田幹男教育長や上村隆学校教育部長、港南雲謙太郎副支部長、新井裕輔副支部長、山本哲也副支部長が出席。池田こうじ港区議会議員が同席した。

や産業医による面談を実施し、適切な治療を促すとともに、必要に応じて乗務員に関する適切な配慮を行うよう求めている。

さらに、健康起因事故防止に関して、意識を高める。

安全マネジメント研修



東ト協は11月15日、東ト総合会館で全日本トラック協会・陸上貨物運送事業労働災害防止協会(陸災防)・陸災防東都支部会との共催により、「陸運事業者のための安全マネジメント研修」を開催した。

員事業者の経営者・運行管理者・安全担当責任者を対象に開催したもので、「運輸安全マネジメント」と「陸運業における労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン(RIKMS)」の一体的な運用方法などについて研修した。

同日はまず、陸災防安全衛生の堀野弘志氏が「安全衛生マネジメント」として事業者の努力義務となっており、作業に伴うリスクなどを評価し、現実かつ効果的に事故・災害防止に取り組む必要がある。

こうした運輸安全マネジメントと安全衛生管理のOSHSを一体的に運用し、輸送の安全と職場の安全衛生を包括したマネジメントを行うことが求められている。

MSは事業場における安全衛生水準の向上(労働災害防止)を主眼としており、RIKMSは、この安全衛生管理に関する取り組みを、陸運事業場で構築するために必要な事項を示したものである。

「フェスタ2023」理事会に方針案上申へ

東ト協は11月7日、東ト総合会館で第3回「フェスタ2022」実行プロジェクト会議を開催し、今年の実施結果を報告し、終了後、同プロジェクト第15回ワーキンググループ(WG)会議を開催し、来年度の「フェスタ2023」の方向性について検討した。

冒頭、同プロジェクトの森本勝也副会長(運輸安全委員長)があいさつし、あいにくの天候だったが、各支部をはじめ協賛各社などの

今年度実施結果を報告

同日のプロジェクト会議は支部結果報告会として、「フェスタ TOKYO 2022」の実施結果を報告。2日間で合わせて約1万人の来場者が訪れ、荒天にもかかわらず、3年ぶりにリアル開催を実現したことなどを報告した。あわせて、フェスタ運営参加者・職員に対するアンケート結果を踏まえ、運営方法や次回開催に向けた改善点などについて報告した。

続いて開催したWGでは、来年度の「フェスタ2023」の方向性について審議。その結果、開催に向けて準備を進めることを確認した。

WGの鳥ノ海学リーダーは、今後の対応について「フェスタのコンパクト化をベースに開催日時・期間や場所など検討することは多い。早めに準備を進めていきたい」と述べた。

協会日誌

- 11月15日
- 2日 児童絵画作品コンテスト選考小委員会▽ロジ研海外交流正副委員長会
 - 4日 女性部正副本部長会議
 - 7日 正副会長会▽東京都交付金事業実施計画案検討委員会▽第23期物流経営士課程開講式
 - 8日 引越専門部会引越研究会
 - 9日 東京運輸支局との連絡会議
 - 10日 海上コンテナ専門部会業務委員会
 - 11日 鉄鋼専門部会安全環境委員会
 - 14日 関ト協関東圏における自動車事故防止対策検討会▽重量品部会経営者研修会▽グリーン・エコプロジェクトセミナー(15日)
 - 15日 IP無線定期通信訓練▽東京都燃料費高騰緊急対策説明会▽ロジ研海外交流正副委員長会▽パソコンセミナー▽陸運事業者のための安全マネジメント研修

日程ボード

- 12月15日
- 1日 14時 運賃・料金適正化検討小委員会(東ト総合会館)
 - 2日 9時 初任運転者特別講習(東ト総合会館、3日) 13時 30分 環境委員会正副委員長会議(東ト総合会館/ Web併用) 14時 30分 環境委員会(同)
 - 5日 14時 引越専門部会研修会(東ト総合会館) 15時 15分 同意見交換会(同) 15時 40分 東京都予算要望に関する知事ヒアリング(東京都庁) 17時 物流専門紙記者懇談会(京王プラザホテル)
 - 8日 12時 女性部幹事会(東ト総合会館/ Web併用) 14時 同女性経営者研修会(同)
 - 9日 15時 紙・パルプ専門部会日本製紙連合会物流委員会・東京洋紙代理店会物流委員会(同)
 - 7日 15時 鉄鋼専門部会健康起因事故防止研修会(東ト総合会館/ Web併用) 15時 30分 物流正副本部長会議(東ト総合会館)
 - 16時 30分 同本部連絡会(同)
 - 7日 13時 30分 プラズマ2025目標達成セミナー(東ト総合会館) 17時 青年部研修会(リーガロイヤルホテル東京)
 - 8日 10時 30分 東京都交付金事業審議委員会(東ト総合会館/ Web併用)
 - 15日 10時 30分 鉄鋼専門部会安全環境委員会(同)
 - 12日 10時 30分 労働力確保対策検討小委員会(東ト総合会館) 16時 20分 ダンプ専門部会全体会議(同)
 - 14日 9時 30分 東京都交付金事業審議委員会(東ト総合会館/ Web併用)
 - 15日 17時 国土交通大臣表彰受賞祝賀会(同)

新会員

- 板橋支部
- 日神物流株式会社
 - 板橋区高島平7の1の14
 - 03・6904・03
 - 67▽一般貨物運送(普通車8台、小型車3台、利用運送)
- 足立支部
- 株式会社エクセル
 - 足立区加平2の11の6
 - 03・5613・886
 - 4▽一般貨物運送(普通車8台、小型車4台、利用運送)

お悔やみ 申し上げます

元北支部長 上野氏が死去

東ト協 元北支部 長の上野 紀一氏(丸豊佐藤運輸会 代表取締役・城東支部)が11月8日、食道がんのため死去した。享年81歳だった。通夜は11月14日、葬儀・告別式は翌15日に北区の西福寺で執り行われた。喪主は長男、智広氏(上野運輸代表取締役)。

同氏は評議員(平成14年〜16年)、常任理事(北支部長同16年〜30年)を歴任。平成21年東京運輸支局長表彰、同28年東運輸局長表彰、同28年国土交通大臣表彰を受賞。

佐藤鉄男氏(丸豊佐藤運輸代表取締役・城東支部)が11月18日に死去。75歳。通夜は11月22日、告別式は翌23日、いずれも江戸川区のセモ江戸川ホールで執り行われた。喪主は長男、豊氏。

軽油の価格

購入価格は、購入に関する諸要因(数量・支払条件・地域ほか)により多少の幅があります(消費税込み)。

10月分の軽油価格 (東ト協調べ)

☆スタンド	平均 = 127.1円
☆ローリー	平均 = 118.9円
☆元売り発行カード	平均 = 125.4円
☆ディーラー発行カード	平均 = 126.2円

燃料給油は東京都内で軽油引取税は地方税です

協協「標準的な運賃」活用セミナー

東京都トラック協会は11月18日、東ト総合会館で、全日本トラック協会との共催により、令和4年度標準的な運賃活用セミナー(Web併用)を開催した。



適正收受へまず届け出を データ示して荷主と交渉

策委員長)があいさつし、「トラック運賃がエッセンシャルワーカーと言われようになつたが、他の業界と比べて賃金は2割安く、労働時間は2割長いとされる。このままでは若い人が業界に入らなくなることを懸念する」と述べた。

「標準的な運賃」活用セミナーでは、講師の近代経営システム研究所の森高弘純代表が「標準的な運賃」告示の概要や届出続き、同運賃を踏まえた原価計算(演習など)、原価計算を反映した運行形態別運賃の考え方、さらには荷主との交渉方法や燃料サーチャージなどについて解説した。

同氏は、貨物自動車運送事業法改正の背景や内容などについて理解する

「標準的な運賃」での割増率届け出など研修

後、発出する予定の通達では、タンク車の「標準的な運賃」の割増率について、車両価格、帰りの空車設定、積み込み・荷卸し時間、燃費、平均速度などにより計算した平均が示されると説明。

既に示されている大型車・トレーラの「標準的な運賃」に対し、石油製成品は約3割程度、化成製品は約4割程度、高圧ガスで約5割以上の割増率が想定されるとした。

東ト協会は12月20日、三井住友海上火災保険との共催により、令和4年度「SDGsオープンセミナー」を開催する。

東ト協会は12月20日、三井住友海上火災保険との共催により、令和4年度「SDGsオープンセミナー」を開催する。

2024年問題への対応 適切な労務管理・運用を



あいさつし、「2024年問題に対応するため、会社の職場環境づくりを進め、若い人が入りやすい業界にしないと、今後、ドライバーの確保は難しくなる。少しでも対応のヒントを得られればと

労働関係各法では会社に対して、適切な労務・安全管理体制の整備と安全管理・運用義務を課していることから、整備不良であれば、紛争発生時に不利な状況になると指摘した。

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

「2023・24年問題」への対応をテーマに



東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協千代田・港・中央の3支部は11月8日、中央区銀座のコートヤード・マリオット銀座東武ホテルで、三組織合同研修会を開催し、三組織の会員事業者など約70人が参加した。

開催に当たり、中央支部ロジスティクス研究会壮年部の下川悟副部長が

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

東ト協重量品専門部会

表彰

表彰

表彰

表彰

表彰

表彰

表彰

表彰

表彰

協同連 関東圏・自動車事故防止対策検討会



発用とトラックドライバー教育用の2種の動画作成案などを説明し、基本的に了承した。冒頭、同検討会の森本勝也委員長(東ト協副会長・運輸安全委員長)があいさつし、「飲酒運転事故ゼロを達成し、トラック運送事業が安全・安心、かつ国民生活や経済活動を担う重要な社会インフラとしての地位を確保するものとする必要がある」と強調した。

関東トラック協会(会長・浅井隆東京都トラック協会)は11月14日、東ト協総会館で令和4年度第1回「関東圏における自動車事故防止対策検討会」(Web併用)を開催し、追突事故防止に向けて、一般ドライバー啓

4年 関東運輸局長 陸運従事者表彰

従事者関東運輸局長表彰式を開催した。受賞者は、管内1都7

県のトラック部門16人と適正化指導員部門1人、運行管理者部門1人、整備管理者部門3人など合計で232人。このうち、東京都トラック協会関係では尾崎桐包(多摩支部)所属の明正弘



氏が受賞。トラック部門を代表し、新田慎二局長から表彰状を授与された。新田局長は式辞で、「トラック業界は生活と経済のライフラインとして重要な役割を担い、暮らしに欠かせない物流サービスに対応している」と強調。その上で「取引環境の改善や働き方改革に向けた取り組みを進めるとともに、安全対策に万全を期していく」と述べるとともに、受賞各氏に対して、今後「各分野において、リーダーとして活躍してほしい」と呼びかけた。

トラック追突事故防止へ 啓発・教育用動画を制作

同日はその動画構成案を説明した。一般ドライバー向け動画は、トラック前方への急な割り込みや急ブレーキなどを防ぐ目的で制作するもので、事故やヒヤリハットの映像でその危険性を視覚で訴え、追突事故はトラックに特微的な事故で、「事業用自動車総合安全プラン」で削減目標が設定されていることから、その防止に向けて啓発・教育用動画を制作することに決めた。これまでヒヤリハットのドライブレコーダー映像の収集や事故データの分析などを行い、同日はその動画構成案を説明した。

業界と一体となり事故防止に努めたい」と述べた。追突事故はトラックに特微的な事故で、「事業用自動車総合安全プラン」で削減目標が設定されていることから、その防止に向けて啓発・教育用動画を制作することに決めた。これまでヒヤリハットのドライブレコーダー映像の収集や事故データの分析などを行い、同日はその動画構成案を説明した。

東京都

東京都環境局は、冬季に窒素酸化物などの大気汚染物質の濃度が高くなる傾向にあることから、その排出削減への取り組みを呼びかけ、都民や事業者等に要請している。これに伴い、同局が登録制度を実施しているClearskyサポーターに対し、依頼文書「令

冬季の大気汚染対策 都民や事業者等に要請

さいい」を作成し、取り組みを呼びかけている。具体的には、業務用車両の効率的な利用の徹底などを求めている。

令和4年10月末 年間累計

Table with columns for accident types (Large, Medium, Small, Total) and various categories like Safety Confirmation, Driver Behavior, etc. It shows a decrease in total accidents compared to the previous year.

たくさんの笑顔が走る 首都東京

令和4年10月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は24,663件で、前年同期比2,569件増加し、死者数は105人で前年同期比5人増加となった。営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は2,177件で、前年同期比

トラック事故速報 死亡事故

Report on a truck accident on November 3rd at 13:46 in Hachioji City. A pedestrian was struck by a truck. Includes a diagram of the accident scene and contact information for the Tokyo Truck Association.

Large advertisement for 'Original Training Manual for Truck Drivers' by Kankokyo. It promotes a training manual for truck drivers to prevent accidents, featuring a video of a truck in a hazardous situation and contact information for the association.

東京運輸支局は11月22日、東ト総合会館で、令和4年「貨物自動車運送事業等安全性優良事業所表彰式」(Gマーク事業所表彰)を開催した。今年度は東京都トラック協会

令和4年 東京運輸支局 安全性優良事業所表彰



この後、受賞事業所を代表して、三鷹運送の福安隆取締役が謝辞を述べ、「Gマークをコンプライアンス向上のツールとし、今後とも運送事業の一層の発展のため、誠心誠意、努力していきたい」と述べた。

△定期な「運転記録証」の導入台数をなくすとともに、2点加算と1点加算の対象となる装置を明確化する予定。また、後方視野確認支援装置(バックアイカメラ)を追加

交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)は11月1日、2022(令和4)年度の「エコドライブ活動コンクール」の審査結果を発表した。

入賞(事業部門)の都市事業者は次の通り。「優秀認定証」|| ロジパルエクスプレス▽古川商事運輸本社営業所「優良賞」|| 渡辺運輸本社営業所▽東京共同ロジテム本社営業所▽国際自動車T2三鷹営業所等「優良認定証」|| 相川運送本社▽SBSリコーロジスティクス輸配送二課

尾崎支局長は式辞で、表彰受賞の事業所について「法令遵守の徹底はもちろん、事業運営においても安全・安心の確保への高い意識と、その確立に向けた積極的な取り組みをされている」と評価

安全プラン2025」を踏まえ、関東地域における事業用自動車の交通事故削減目標を達成するため、官民総力を挙げて様々な施策を推進していきたい」と述べた。

今年度の表彰事業所は次の通り。古川商事運輸本社営業所▽鴻池運輸国立営業所▽首都圏物流西関東センター▽ヤマシマコンテナサービス東京支店▽ジャパ

△交通安全省 12月10日〜5年1月10日 国土交通省は、令和4年度「年末年始の輸送安全総点検実施」を実施する

管理(特に乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握、乗務員に対する指導監督体制)の実施状況など4項目を設定。また、自動車局では6項目を設定し、徹底を求めている。

●国土交通省、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を開始し、期間中(令和5年2月28日まで)、ホイール・ナットの適切な保守管理に関して緊急点検を実施する

東ト協会 35事業所が受賞

松原副会長は祝辞で、「より質の高い安全と利用者を選ばれる優良事業所を目指すとともに、Gマーク制度の普及のためにも、他の目標となる事業所となつていただきたい」と呼びかけた。

△同福生事業所▽鈴直運送本社営業所▽三鷹運送本社営業所▽宮吉運輸本社営業所▽SBSロジコム関東支店▽三和

自主的な安全への取り組みを強化することが重要となる。このため、経営トップを含む幹部の強いリーダーシップにより、定し、徹底を求めている。

このうち、トラック運送関係の重点点検事項は、次の通り。▽健康管理体制の状況

●東ト協、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会がまとめた「トラック関係施策に関する要望書」を提出。燃料油激変緩和措置の継続や、労働環境の改善に必要な「標準的な運賃」普及・浸透への支援拡充などのほか、運輸事業振興助成交付金の増額につながる制度の構築を要請する(7日)



国土交通省や道路管理者、高速道路会社などで構成する「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」事務局は11月9日、首都圏21か所で重量超過など違反車両に

大型車通行適正化へ関東地域連絡協議会 国土交通省や道路管理者、高速道路会社などで構成する「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」事務局は11月9日、首都圏21か所で重量超過など違反車両に

●東ト協、自由民主党東京都支部連合会に対し、全日本トラック協会がまとめた「トラック関係施策に関する要望書」を提出。燃料油激変緩和措置の継続や、労働環境の改善に必要な「標準的な運賃」普及・浸透への支援拡充などのほか、運輸事業振興助成交付金の増額につながる制度の構築を要請する(7日)



75台で、このうち違反車両は指導警告15台、措置命令7台の計22台だった。措置命令の具体例としては、制限値を3・0ト超過する車両総重量23・0トの違反車両が確認され、道路管理者から違反者に措置命令書を発出し、高速道路外への排出措置を命じた。

向動ファイル

◆10月分◆ ●国土交通省、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を開始し、期間中(令和5年2月28日まで)、ホイール・ナットの適切な保守管理に関して緊急点検を実施する

坊巷透話

飛鳥井 恭司

紅葉を愛で文人気分
 秋も深まり紅(黄)葉が一段と色を増している。各地でもみじ祭りやいちよう祭りが開催され、行く秋を楽しませている。

文化・芸術の秋の気分を



玉藻の磯から中島の景色

ね行く和歌のうら路のはま千鳥跡ある方に道しるべせよ」と和歌の世界へ。

園内絶景の見晴らしスポットが、高さ35メートルの築山「藤代峠」(文京区内で一番の高台でもある)は、紀州の同名の峠からとったもので、この峠は多くの歌に歌われており、富士山や筑波山を見るためにも築かれた。

庭園の植栽は松が中心となっているが、その間に紅葉色づく木が植えられ、松の緑に対し紅葉がアクセントのように存在感を示し、秋の深まりを思い起こさせてくれる。藤代峠から見る池泉や中島、そこに架かる田鶴橋の景色は一幅の絵のよう。

森の中を歩くようで、時折見せる紅葉が美しい。蜘蛛道は、蜘蛛の糸のようにクマザサが茂った細い道に名付けられたものだが、「わかせこが来(く)べきひかりかねてしるしも」(古今集1110)に因んでおり、和歌の道も長く続くようにとの思いとか。

もうひと踏ん張りも二踏ん張りも

青梅市の岩蔵地区にある「青梅のフセギのワラジ」を見に出かけた。悪疫退散などを願って、村の護りとして大きな草鞋を村境に吊るす民俗行事である。東京都が文化財に親しんでもらおうと行っている、「文化財ウイーク2022」での特別公開事業(都指定無形民俗文化財)の一環で、岩蔵地区は都内で唯一の温泉郷といわれている「岩倉温泉」でも知られている。

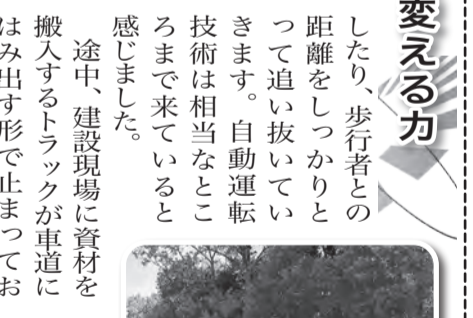
「フセギ」は疫病や悪霊が村の中に入ってきたように、また、村の中にある災厄を村の外に追い出し、再び入ってこないようにすること。そのため、村人が協力して注連縄や大きなワ

「青梅のフセギのワラジ」



自動運転バスが秘める

地方の生活を変える力
 地方に行くとき、電車やバスを1時間以上待つことが多く、高齢者が自動車免許を返納したくない気持ちも理解できません。食材の配送も便利ですが、健康維持には外出は欠かせません。そんなことを考え、茨城県境町の自動運転バスに乗ってきました。

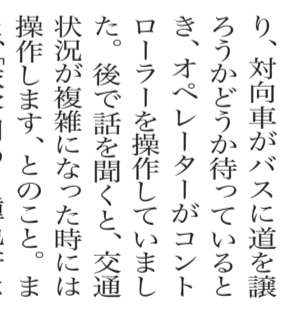


東洋自動車から高速バスに乗って着いた時には、自動運転バスがちょうど発車。でも、時速20キロ未満で走るので、走って追いかけると何とか乗ることができました。

バスは、オペレーターと呼ばれる人が走行を見張っています。手元にコントローラーを持っていますが、走行中に操作することは少なく、バスは決まったルートで自動的に走り、バス停でストップ

ポケット

バスは、オペレーターと呼ばれる人が走行を見張っています。手元にコントローラーを持っていますが、走行中に操作することは少なく、バスは決まったルートで自動的に走り、バス停でストップ



部分はおフィスとなる予定です。報道では、世界最高峰のホテルが日本一の高さのビルに決定とあり、そこから見える景色が楽しみとなりそうです。

【TorCh Tower】
 住所：千代田区大手町2丁目

和歌の庭「六義園」を散策



藤代峠から見る池泉や中島

蜘蛛道

六義園は、造営者である徳川五代将軍綱吉の側用人、柳沢吉保が和歌への思いを込めて造った庭園。名称は、和歌の指針書といわれている古今集の序にある「歌の様六つなり」によって「むくさのその」といわれていたようだ。「歌の様六つ」は中国の詩の六種のことで、古今集の

園内には、88か所の景勝地が分かるように石柱(碑文柱)を立てて、その景色から歌の詠まれた88か所の世界へのいざないとしたが、現在、石柱は32か所だけが残っている。小さな中門を抜けると有名な枝垂桜が目に入り、左に進むと指南岡があり、「志るべの岡」の石柱がある。「尋

青梅市の岩蔵地区にある「青梅のフセギのワラジ」を見に出かけた。悪疫退散などを願って、村の護りとして大きな草鞋を村境に吊るす民俗行事である。東京都が文化財に親しんでもらおうと行っている、「文化財ウイーク2022」での特別公開事業(都指定無形民俗文化財)の一環で、岩蔵地区は都内で唯一の温泉郷といわれている「岩倉温泉」でも知られている。

「フセギ」は疫病や悪霊が村の中に入ってきたように、また、村の中にある災厄を村の外に追い出し、再び入ってこないようにすること。そのため、村人が協力して注連縄や大きなワ

部分はおフィスとなる予定です。報道では、世界最高峰のホテルが日本一の高さのビルに決定とあり、そこから見える景色が楽しみとなりそうです。



【TorCh Tower】
 住所：千代田区大手町2丁目

わが町では第2木曜日(古紙・布類の日)集積所に本の束を見ると、勇気があるなと思う。いつかは捨てなければならぬのだが、本は捨てがたい。◆数年前、市の図書館建設計画説明会が開かれたとき、ある紳士が手を挙げて蔵書を受け取ってほしいと発言し、市の職員を慌てさせたことがあった。断られて、あれからあの紳士は、蔵書をどうしたのだろう◆こちらは、何十年もの間に自然と増えた雑多な本だが、それでも捨てきれない。理由は金銭的な思いもあるが、整理しようと手にすると、どの本も読んだことは確かでも、内容がはつきり思い出せないことである◆間違いない読んでいるのに覚えていないことに驚く。人間の脳はそのようなものか。だからもう一度読んで確認したい。それが無理なことは分かっているが、どの本も手放せない。年月かけて読んだ内容はどこにいったのか◆いろいろ考えて思いついたのはテレビのクイズ番組だ。出演者より先に解答できることがある。それが長年培った雑学の成果なのか。もともと傍目八目だし、番組制作側のサービス演出かもしれない。